

矢板市財政状況

令和5年9月30日現在				
人	口	30,645	人	
世	帯	数	13,380	世帯
面	積	170.46	km ²	
市	有	土地	4,164,920.57	m ²
市	有	建物	146,922.78	m ²

ま え が き

「アフターコロナ 矢板パワーアップ予算」と銘打つ今年度の予算は、一般会計は過去最大規模となり、家庭、学校、職場、地域等のあらゆる場面で日常を取り戻すとともにアフターコロナの新時代に向けて、各種取組をバージョンアップしていくものとなっています。

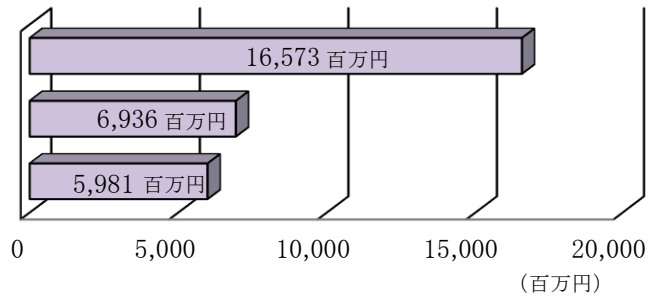
市政運営の根幹であり、私たちの日常生活に密接な「市の財政」について、皆様にご理解とご協力を賜りたく、令和5年度上半期の予算執行状況等及び令和4年度決算の状況についてお知らせします。

1. 令和5年度歳入歳出予算の執行状況 (令和5年9月30日現在)

(1) 一般会計

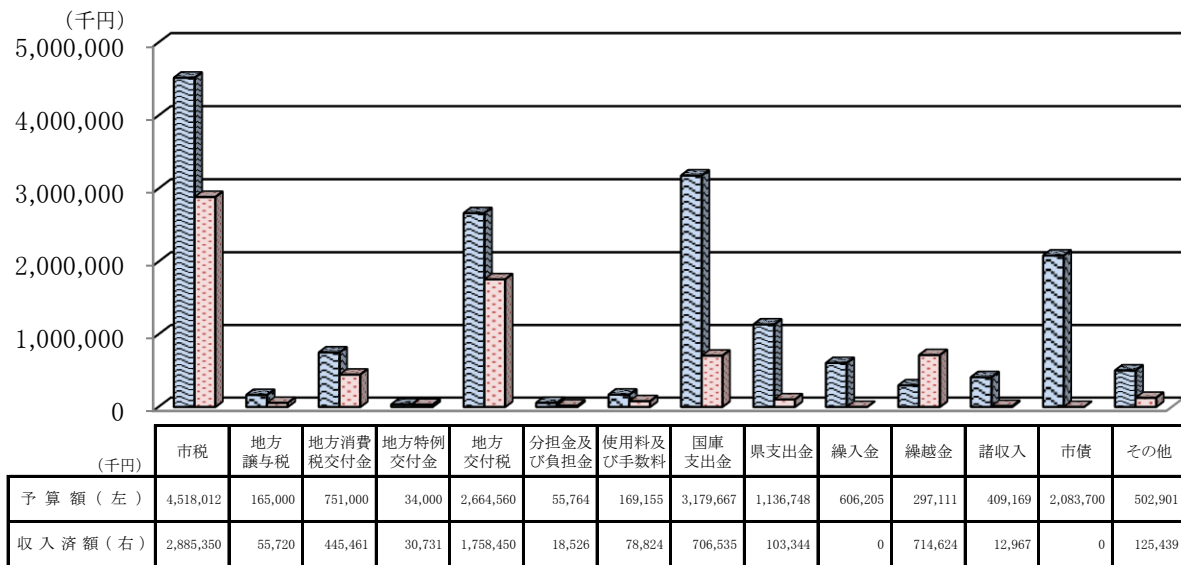
①歳入歳出合計

	金額	執行率	
予算額	16,573 百万円	/	
収入済額	6,936 百万円		41.9%
支出済額	5,981 百万円		36.1%

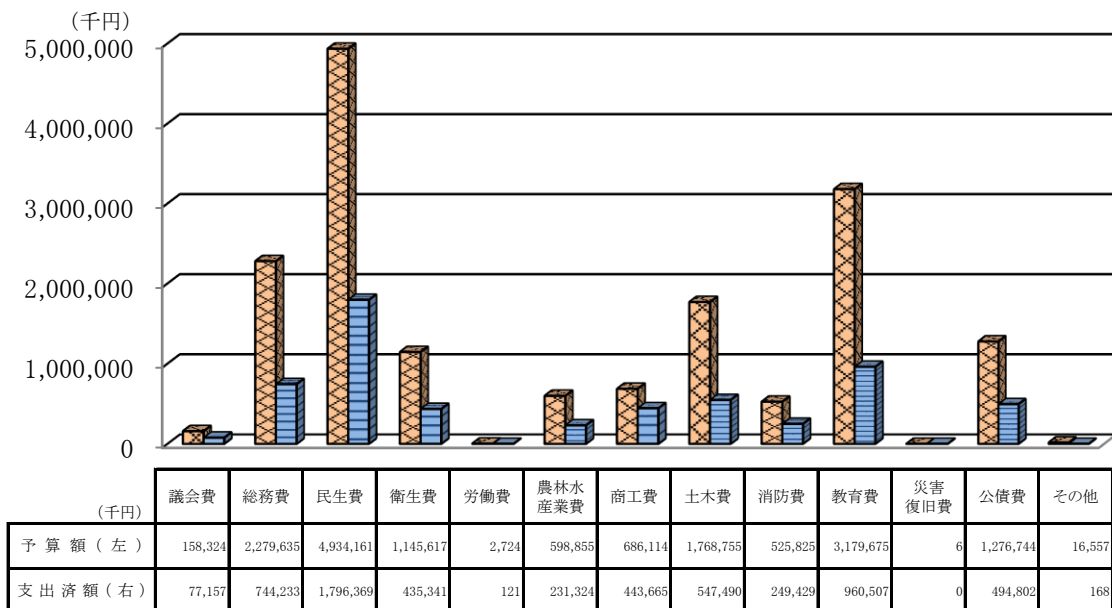


②費目別歳入歳出

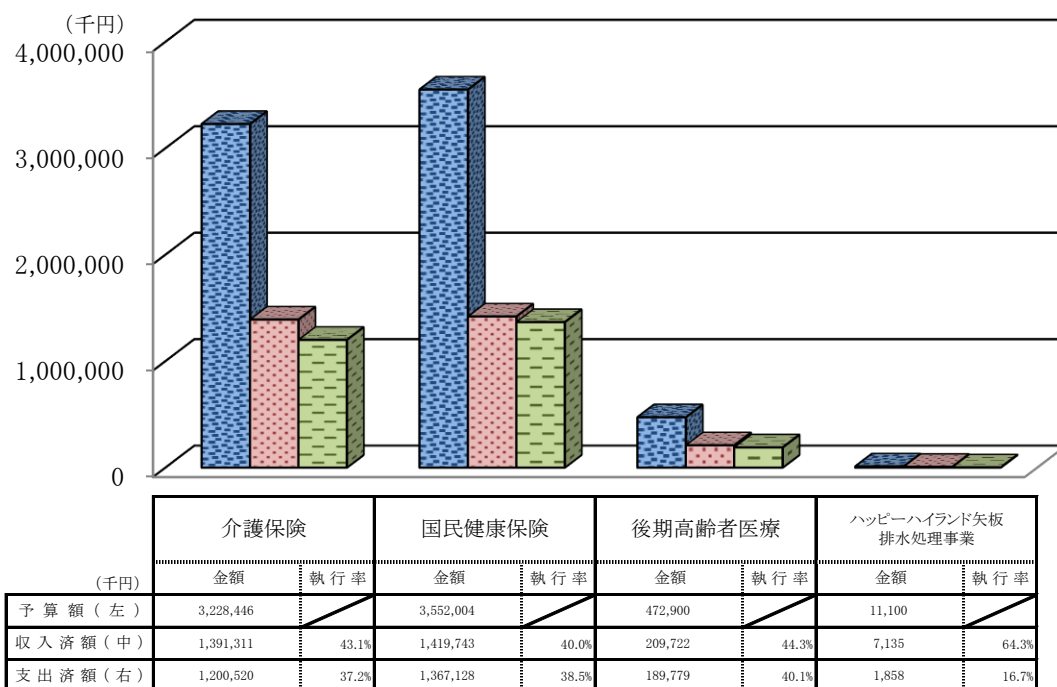
(a) 歳入



(b) 歳出



(2) 特別会計



2. 令和5年度地方公営企業の経理の状況 (令和5年9月30日現在)

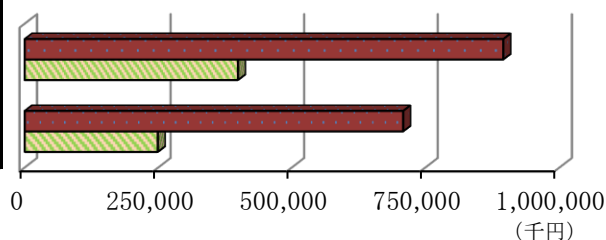
(1) 水道事業

① 水道事業の概要

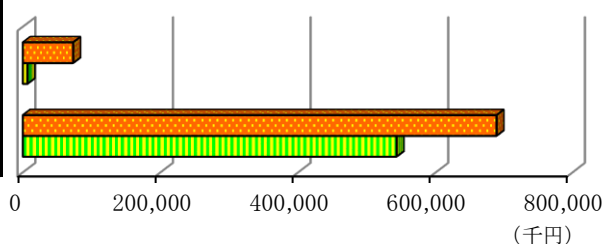
	令和5年度 (1日あたり)	
配水量	2,217,158 m ³	12,116 m ³
有収水量	1,726,813 m ³	9,436 m ³
給水戸数	13,316 戸	
給水人口	30,478 人	

② 水道事業の経理の状況

(千円)		金額	執行率
収益的収支	収入予算(上)	895,000	
	収入済額(下)	399,015	44.6%
	支出予算(上)	708,100	
	支出済額(下)	248,866	35.1%



(千円)		金額	執行率
資本的収支	収入予算(上)	73,000	
	収入済額(下)	6,496	8.9%
	支出予算(上)	688,715	
	支出済額(下)	542,945	78.8%



(2) 下水道事業

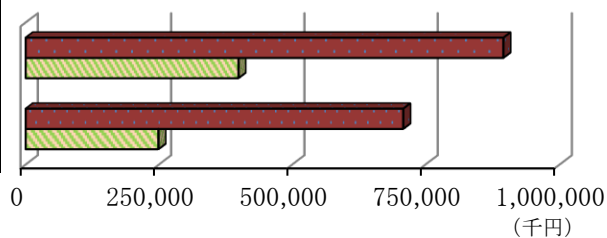
① 下水道事業の概要

	令和5年度	(1日あたり)
処理水量	1,107,075 m ³	6,050 m ³
有収水量	611,413 m ³	3,341 m ³
水洗化戸数	4,903 戸	
水洗化人口	11,661 人	

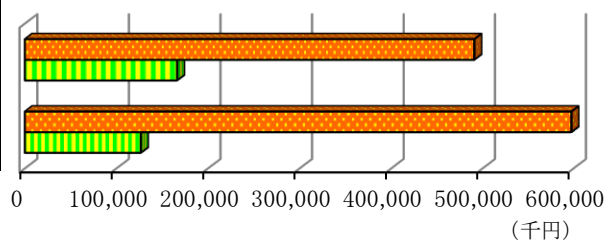
※ 水洗化戸数及び水洗化人口は令和4年度末現在(コロナ矢板除く)。

② 下水道事業の経理の状況

		(千円)	金額	執行率
収益的収支	収入予算(上)		696,700	
	収入済額(下)		251,910	36.2%
	支出予算(上)		693,240	
	支出済額(下)		115,303	16.6%



		(千円)	金額	執行率
資本的収支	収入予算(上)		490,800	
	収入済額(下)		166,137	33.9%
	支出予算(上)		597,504	
	支出済額(下)		126,563	21.2%



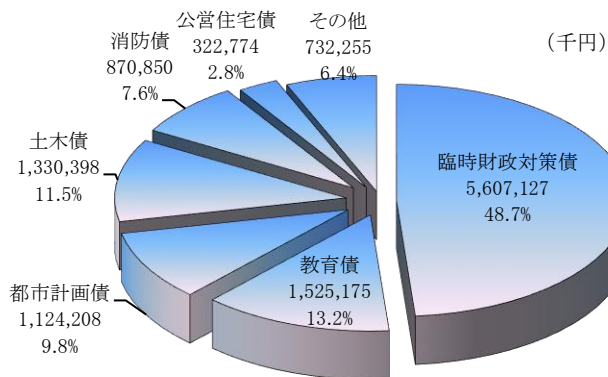
3. 市債、一時借入金及び基金の状況 (令和5年9月30日現在)

(1) 市債の残高

① 一般会計

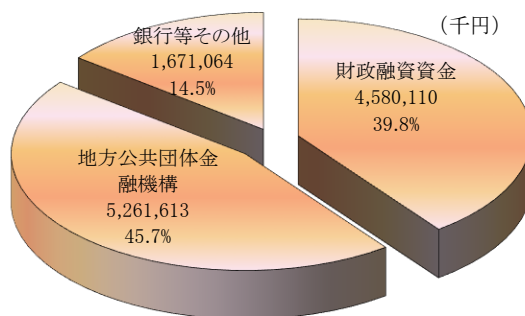
(a) 目的別

	(千円)
	残高
臨時財政対策債	5,607,127
教育債	1,525,175
都市計画債	1,124,208
土木債	1,330,398
消防債	870,850
公営住宅債	322,774
その他	732,255
合計	11,512,787



(b) 借入先別

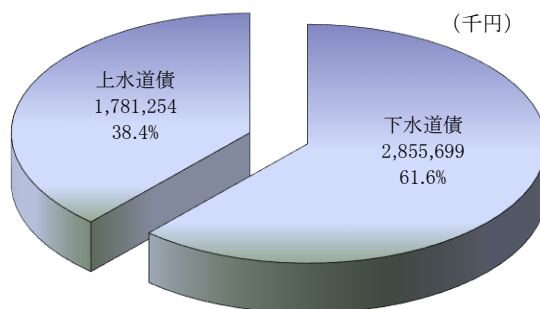
	(千円)
	残高
財政融資資金	4,580,110
地方公共団体金融機構	5,261,613
銀行等その他	1,671,064
合計	11,512,787



② 地方公営企業

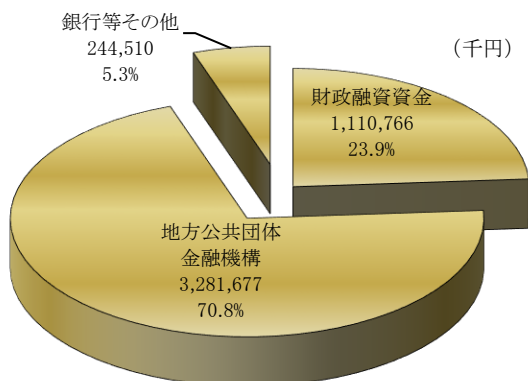
(a) 目的別

	(千円)
	残高
下水道債	2,855,699
上水道債	1,781,254
合計	4,636,953



(b) 借入先別

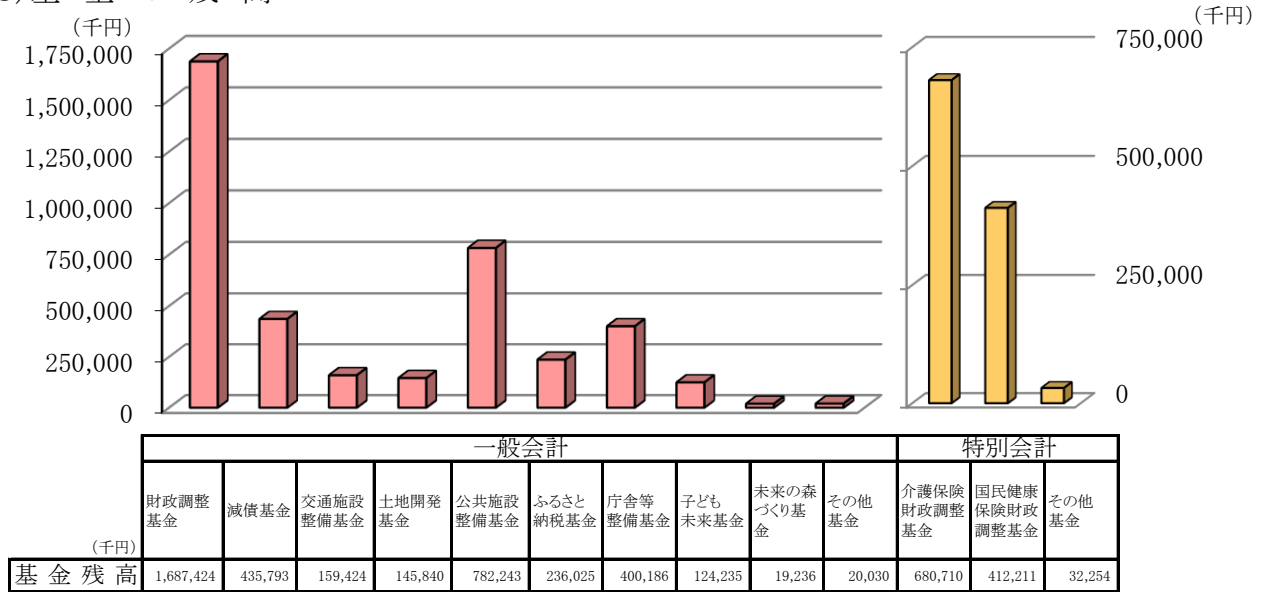
	(千円)
	残高
財政融資資金	1,110,766
地方公共団体金融機構	3,281,677
銀行等その他	244,510
合計	4,636,953



(2) 一時借入金の残高

一時借入金はありません。

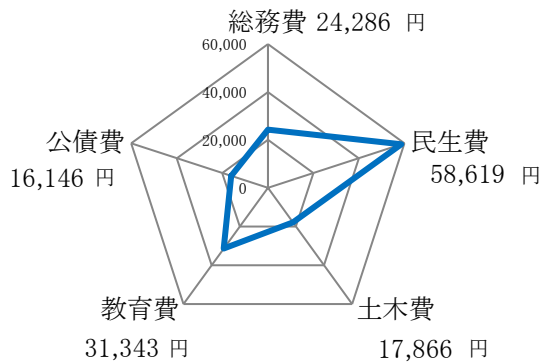
(3) 基金の残高



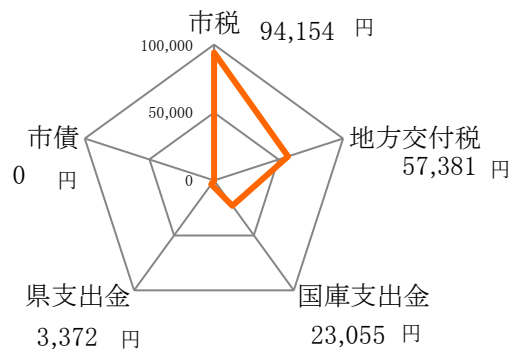
4. 住民の負担等の状況 (令和5年9月30日現在)

(1) 住民一人当たりの負担等の状況

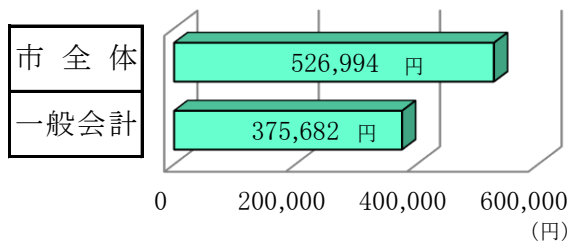
① 主な歳出費目



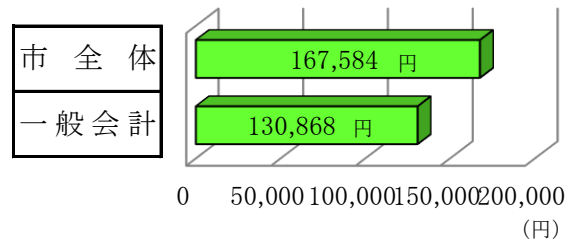
② 主な歳入費目



③ 市債残高



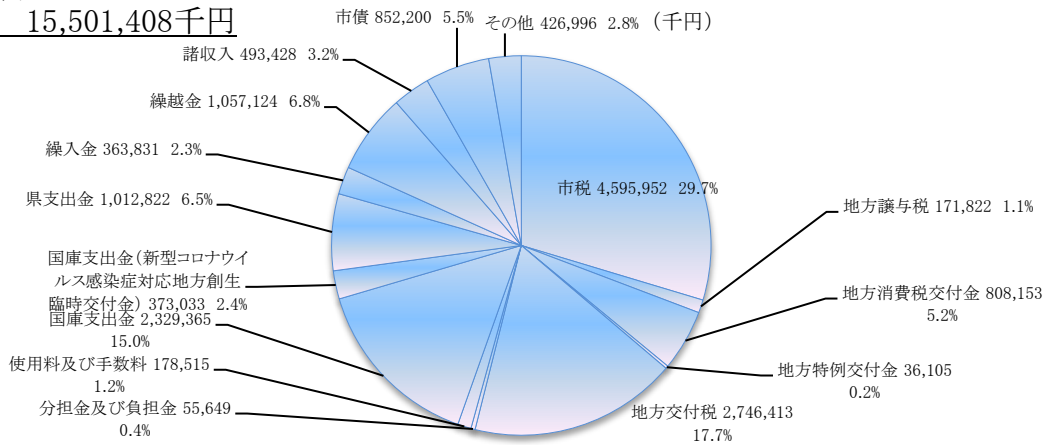
④ 基金残高



5. 令和4年度の決算の状況

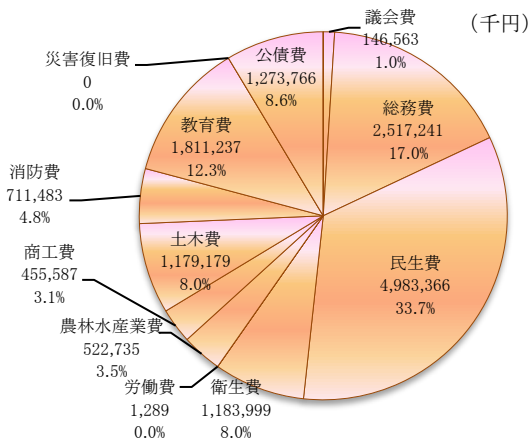
(1) 一般会計

①歳入 15,501,408千円

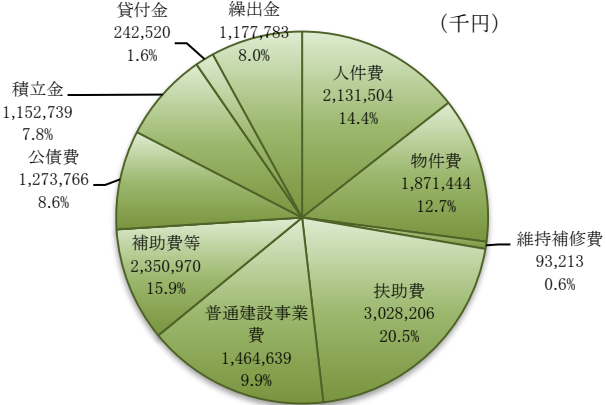


②歳出 14,786,784千円

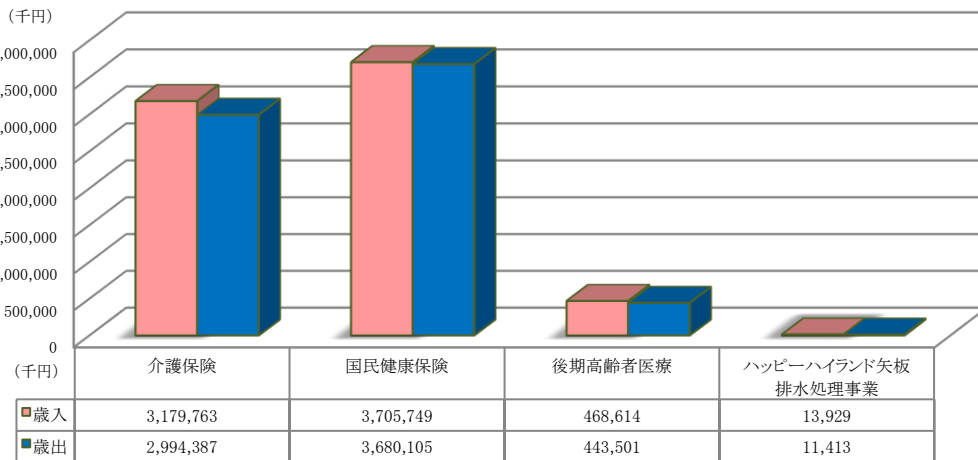
【目的別】



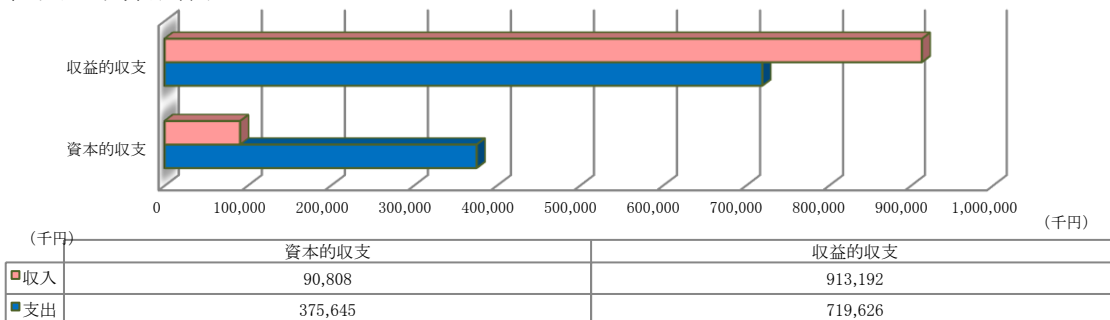
【性質別】



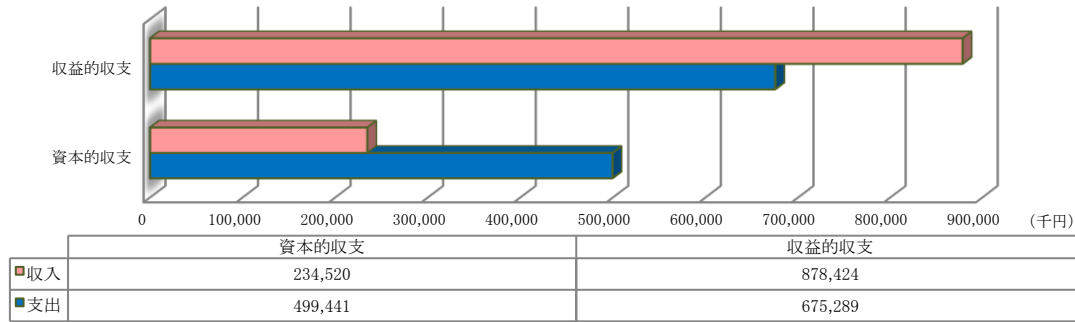
(2) 特別会計



(3) 水道事業会計



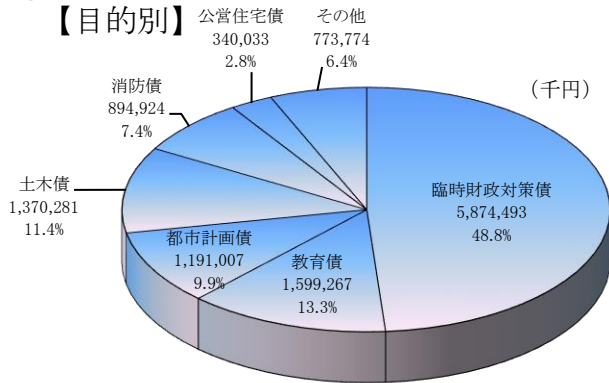
(4) 下水道事業会計



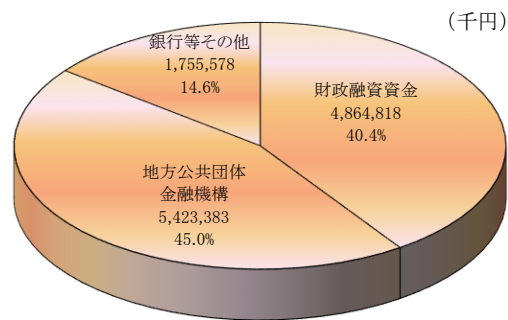
(5) 市債の残高

① 一般会計

【目的別】

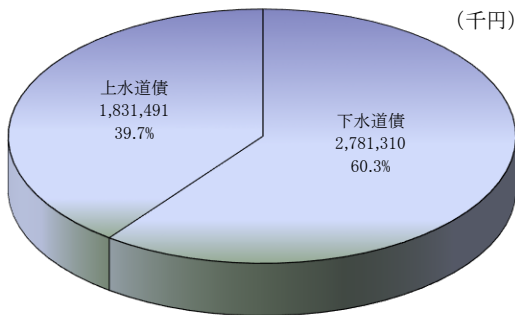


【借入先別】

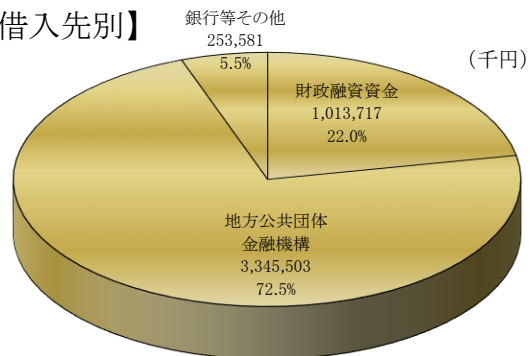


② 地方公営企業

【目的別】

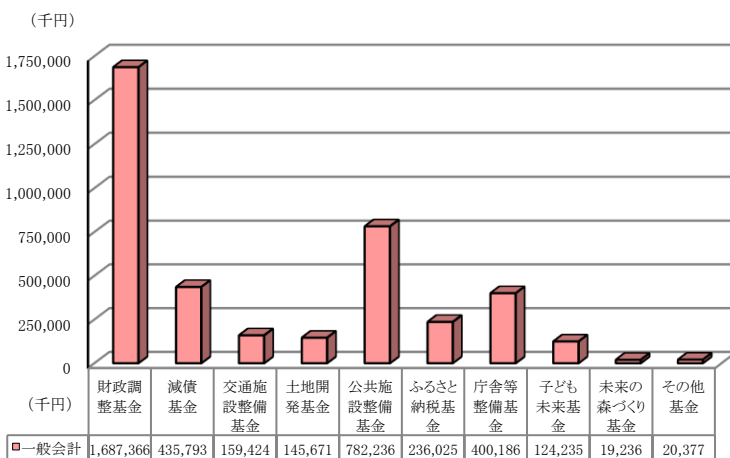


【借入先別】

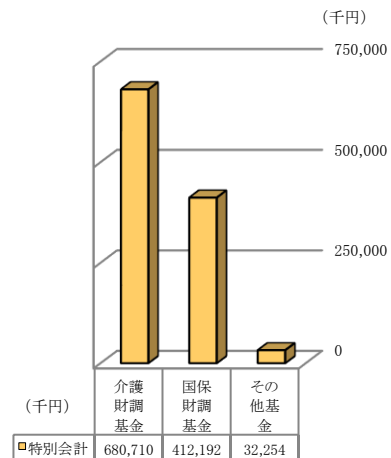


(6) 基金の残高

【一般会計】



【特別会計】



矢板市の財政状況について

公表した資料に加えて、他市町の予算との比較や健全化判断比率の状況を踏まえて、矢板市の財政状況をお知らせします。

1 令和5年度予算額はいくら？

矢板市の令和5年度普通会計当初予算は、**過去最大規模の約151億円**（前年度比11億7千万、+8.4%）となりました。

これは、令和6年度からの供用開始を予定している文化スポーツ複合施設や泉複合化施設の建設等の大型建設事業により予算総額が増加したためです。

当初予算額を県内24市町と比較してみると、人口は15番目（令和5年9月末時点）、予算規模は14番目（令和5年度当初予算時点）であるのに対して、1人当たりの予算額（令和5年度の当初予算÷人口）は8番目となっており、このことから今年度の予算規模が大きいことが分かります。

一方、矢板市は将来を見据えた持続可能な財政基盤を構築し、安定的に行政サービスを提供するため、各種基金（市の貯金）を積み立てています。この基金の額も順調に増加しており、特に**財源不足等を調整するための財政調整基金と市債の返済に充てる減債基金の合算額は過去最高額の約21億円（令和4年度末時点）**となりました。（公表資料参照）

2 令和4年度の健全化判断比率の結果は？

実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率将来負担比率のいずれも、国の基準を下回る結果となり、健全な財政状況と判断できます。

また、矢板市の将来負担比率は地方債（市の借金）の減少や基金の増加等に伴い、令和2年度以降、改善傾向にあります。

今後もこれら指数を念頭においた財政運営を行い、一層の財政健全化を図ります。

全指標において、国の定める基準を下回っています！

指標	矢板市の数値	国の定める基準		解説
	令和4年度決算	早期健全化基準 (黄色信号) ※1	財政再生基準 (赤信号) ※2	
実質赤字比率	- (-)	13.76%	20.00%	一般会計等(※3)の収入(※4)に対する赤字の割合。赤字の大きさを把握するための指標
連結実質赤字比率	- (-)	18.76%	30.00%	一般会計等、介護保険特別会計などの特別会計、水道事業会計などの企業会計を合わせた矢板市のすべての会計の収入に対する赤字の割合
実質公債費比率	8.6% (8.8%)	25.0%	35.0%	収入に対してどのくらい借金の返済に充てているかを示す割合。現時点での借金返済額が大きすぎないかを把握するための指標
将来負担比率	7.3% (29.1%)	350.0%		収入に対する実質的な負債（これから返済しなければならない借金など）の割合で、残高から貯金を引いた残りの額が年間収入の何%になるかを示したもの。将来返済しなければならない借金が大きすぎないかを把握するための指標

○表中の「-」は、赤字が生じていないことを示します。下段の（ ）は令和3年度決算の数値です。

※1 いずれかの指標でこの基準を超えた場合、自主的な改善努力を図るため、財政健全化計画を策定する。

※2 いずれかの指標でこの基準を超えた場合、国の関与による確実な再生を図るため、財政再生計画を策定する。

※3 「一般会計等」とは、一般会計と一部の特別会計（ハッピーハイランド矢板排水処理事業特別会計）を合わせたもの

※4 「収入」とは、地方公共団体に通常収入されると見込まれる経常的な一般財源の規模を示す「標準財政規模」を指す。